

丹精込めた野菜を給食に寄贈

「ふるさと教育くねっぶ学」の授業の一環として理科の選択科目「北海道の自然」で農業を学ぶ訓子府高校3年生16人と訓子府中学校2年生32人が栽培したタマネギ80kg、ジャガイモ120kgが9月26日に町給食センターへ寄贈されました。

ジャガイモは、10月6日の給食メニューに「きなことポテト」として、タマネギはさまざまなメニューの具材として、提供されました。



津野町訪問団来町

訓子府町の姉妹まち・高知県津野町から池田町長をはじめ町民55人が10月15日に来北、17日に本町へ来町しました。

中央公園の開基百年記念碑やレクリエーション公園など町内施設、北見市相内町の玉ねぎ集出荷施設の見学後、夜は津野町に關係のある町民との交流会が開かれ、両町民は交流を深めました。また、訓子府中学校吹奏楽部、キッズヒップホップグループ「クラッピー」によるアトラクションが行われ、交流会に華を添えました。

たくさんの思い出を胸に再会を誓い合い、津野町訪問団は18日に帰路に着きました。

津野町から55人が来町



居小で収穫祭



オロムシカレーフェスティバル

居武士小学校で9月27日、収穫祭の「オロムシカレーフェスティバル」が行われました。

居武士小学校の畑で収穫したタマネギ、ジャガイモ、ニンジンを使って、全校児童25人がカレーライスを作りました。

当日は異学年で3グループに分かれ、グループごとにメニューを考えて調理を行いました。ミニトマトやウィンナーなど、グループごとに特徴ある食材を入れてポークカレーやチキンカレーを調理し、給食の時間にランチルームでいただきました。

児童たちは、「自分たちで調理したカレーライスは、とてもおいしい」と笑顔で何度もおかわりをしていました。

牧場からわが家へ

町共同利用模範牧場の一斉退牧が、10月13日と14日に行われ、305頭が町内外の「わが家」に戻っていきました。

牛たちは春に入牧し、5か月間、広い牧場で過ごしてきました。

退牧の際にはなかなかトラックに乗り込まず、作業員を手こずらせる牛もいましたが、最後はおとなしく牧場をあとにしました。

305頭が退牧



火災予防に一躍

町認定こども園わくわく幼年消防クラブの5歳児26人が秋の火災予防運動の一環として、10月17日に防火パレードと放水体験を、10月19日と21日に防火ポスター配布を行いました。

防火パレードでは、「火の用心、マッチ1本火事のもと」と拍子木に合わせてながら防火を呼び掛けるとともに、園児たちは「火遊びはしません」と誓っていました。



今月の一枚

町の素敵な瞬間を紹介しています。今月は「こども園児のレクリエーション公園散策」です。

町ホームページでも写真や動画で行事などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

